

加西ふるさとミーティング 2019

校区名	開催日	開催場所
西在田	令和元年7月11日(木)	下若井町公民館

質問・要望等		回答者	回答
1	市財政状況と加西病院の経営状況を報告頂いたが、これだけの資料と説明では数字も含めて頭に入ってこない。今後主な部分の資料を紙でいただきたい。		(事務局への要望ということで確認をしました。)
2	財政の健全化指標を4点説明いただきました。説明の中で赤字がこれまで無くい方向だと思います。将来的な見通しが無かったのでご説明をいただきたい。次回からこのような場があればご報告いただきたい。	総務部	財政状況の今後の見通しにつきましては、お示しした4つの指標のいずれにつきましても、将来にわたり安全な範囲で推移するのは確実に考えています。 実質公債比率、将来負担比率につきましては平成25年から27年の建設事業を積極的に行ったため、これまで下がっていた数字がまた上がることもありますが、安全な範囲で推移していきますので、財政的に危機的な状況をむかえることはありません。 インター周辺の新産業団地事業につきましても、一つの工区が売れて収入を次の工区に充てるため事業の中で借金が膨らむことはありません。
3	加西病院は山の上にあり、高齢者が通院するには大変なため、場所も含め新しい加西病院を考えておられるのかお聞きします。 医師の確保は大事だと思う。今日の神戸新聞で	病院	以前から小児科・産婦人科・神経内科・呼吸器内科等の医師の確保に努めてきましたが、今回産婦人科の医師が定年を前にして12月に退職することとなりました。 救急への対応について、当院は、神戸から多くの医師が通っています。そのために市内に医師用社宅を用意して住んでいただいています。

<p>も産婦人科の医師が 1 名退職されると出ていきました。医師の確保のみならず加西病院に勤務する医師が市外から通っていると聞いています。緊急の場合時間がかかるので何とか加西に住んでもらえるような環境づくりができないでしょうか。</p> <p>外から加西病院に来てもらえるような優秀な医師を確保できないでしょうか。</p>		<p>大学病院から医師を送ってもらう時代は平成 16 年で終わっています。新しい臨床研修医制度が始まってから大学病院にも医師が来なくなったため、多くの大学が一斉に医師を引き上げました。加西市では、その時に産婦人科の医師がいなくなり、今の医師は病院が独自に確保しました。</p> <p>今後の医師の確保のためには、いい病院ということだけでなく加西が住みやすい街であるというイメージも大切です。</p> <p>今後、より魅力ある病院として医師が働きたい病院を目指したいと思っています。</p>
---	--	--